

令和元年度 学校評価アンケート結果分析

岐阜清流高等特別支援学校

1 保護者・学校運営協議会委員対象アンケート結果分析

- ・全35項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が70%以上の項目数は、34項目あった。(H30年度22項目)
- ・C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答比率が30%以上(比率として高いと考えられる)の項目数は、0であった。(H30年度0項目)
- ・「あてはまる A+B」の評価を受けた34項目は、「教育方針」「家庭との連携」「教職員」「授業」「学校独自(学校目標)」に関することであり、学校教育の根幹となる重要な項目において肯定的な評価を受けた。
- ・「自校の教育活動に関する自己評価を保護者に伝える」「生徒の様子を保護者に連絡や意思疎通を積極的に行っている」など家庭との連携で、悪い評価があるので、改善する必要がある。
- ・E「わからない」の回答割合が20パーセント以上の項目数が4項目あり、これらの取組状況について、保護者に明確に伝える必要がある。(H30年度7項目)

2 生徒対象アンケート結果分析

- ・全20項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が70%以上の項目数は、19項目あった。(H30年度17項目)
- ・C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答比率が30%以上(比率として高いと考えられる)の項目数は、0であった。(H30年度0)
- ・概ね良好な結果であるが、生徒の実態、状況を的確に把握して、教員間の連携を取りながら指導を行っていききたい。
- ・「たたいたり、殴ったりしない」の項目で、D「まったくあてはまらない」が7あるので、体罰の実態把握調査を行う。

3 考察と課題

- ・アンケートの回収率は、保護者・学校評議員対象アンケートが93.1%、生徒対象アンケートが91.2%であった。
- ・学校運営協議会で議論いただいた学校経営計画に基づき取組を進めさせていただいた結果、学校運営に対する肯定的な評価の割合が上がっている。
- ・保護者に対する情報提供や説明が十分できていないと思われる項目は減少しているが、さらに改善を図る必要がある。
- ・開校3年という節目を迎えたこの時期に今までの取組を振り返り、生徒一人一人に応じたきめ細かな支援を行うために記述式の学校運営アンケートを行い、さらに学校改善を図りたい。